

師団は十二月三日、北海道大演習場島松地区において、平成十八年度総合戦闘

# 総合戦闘射撃を公開 寒風忘れる迫力！

射撃訓練を協力団体会員等に公開した。

総合戦闘射撃は、増強普通科中隊による総合的な火力発揮能力を向上させることを目的とし、砲迫、戦車を含めて実射を伴う一連の戦闘行動を行うもの。今年度は十二月二日から九日の日程で、第十(滝川)、第十八(真駒内)、第二十八(函館)の各普通科連隊がそれぞれの計画に基づいて実施した。

三日公開されたのは十八普通連の訓練。当日は晴天だったものの、この冬一番の冷え込みとなり、師団友の会や隊友会などから参加した約三十名の見学者は、用意された毛布を膝にかけ、また安全管理上、射場の最後方に設けられた天幕から見学した。小銃や無反動砲など普通科隊員は双眼鏡で確認できる程度だったが、状況が

進み第一線部隊の離脱を支援する射撃が始まると、間近で発射された戦車砲の轟音と火炎の迫力に、見学者たちは歓声を上げていた。

射場を後にした見学者は北千歳駐屯地で山本幕僚長を囲んで部隊食で会食し、真駒内に帰隊して解散した。

